

令和7年度多職種協同による自立支援と重度化対応・重症化予防研修 ～最新の認知症ケア～

実施要綱 兼 受講者募集要項

＊3か年カリキュラムの3年目（全9回のうち7～9回目）

1 研修のねらい

私たちが認知症ケアを始めた今から約25年前には、日本版パーソンセンタードケア「よりそうケア」しか手持ちの技術がありませんでした。しかし、認知症のケアは劇的に変わりました。2015年に『かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン』、2017年に『認知症疾患診療ガイドライン2017』、『慢性便秘症診療ガイドライン2017』、2018年に『パーキンソン病診療ガイドライン2018』が発刊され、老年医学も大きく進歩し、標準的な治療アルゴリズムも形になってきました。認知症高齢者のケアも変革を遂げました。

「トータルケア」は日本版パーソンセンタードケア「よりそうケア」とこれらの最新知識に基づいた科学的ケアが融合したものです。認知症ケア、食事ケア、排泄ケアを先進施設の実践事例と合わせて講義します。

講義内容（本研修では、令和5年度から3か年をかけ、全9回で以下の内容を学びます。）

- 1 パーソンセンタードケアと最新の科学的ケアを融合した「トータルケア」
- 2 「トータルケア」における多職種協働の重要性
- 3 4大認知症の特徴とケアのポイント
 - 3.1 アルツハイマー型認知症の特徴とケアのポイント
 - 3.2 脳血管型認知症の特徴とケアのポイント
 - 3.3 レビー小体型認知症の4大症状とケアの方法
 - 3.4 前頭側頭型認知症の6大症状とケアの方法
- 4 認知症ケアにおける認知症薬、抗精神病薬、睡眠薬の基礎知識
- 5 BPSDが出たときのカンファレンスの方法
- 6 認知症カンファレンスシート、総合記録シートの使い方
- 7 先進施設での最新の食事ケア
 - 7.1 味覚障害
 - 7.2 胆道系疾患、パーキンソン病、抗精神病薬
- 8 先進施設で行なっている最新の排泄ケア
 - 8.1 新しい下剤を使った改善事例
 - 8.2 頻尿のケア 医療連携と観察のポイント
- 9 BPSDの身体的要因とその対応法
 - 9.1 かゆみ、レストレスレッグズ症候群、めまいなど
 - 9.2 つば吐き、着衣を脱ぐ、重ね着など

2 主 催

北海道老人福祉施設協議会

3 受講対象者

○介護職員 ○生活相談員 ○ケアマネージャー ○看護師 ○栄養士

＊1事業所上記2職種以上の参加必須

4 定員数

100名 ＊1事業所2名以上参加必須

5 研修内容

＊詳細は別紙カリキュラムをご参照ください

各期1日間（各回5時間30分）、今年度の3期（合計3日間）を通してご参加ください。

6 講師

泉田 照雄 氏

（全国高齢者ケア研究会 研究委員長）

7 研修日程

第1期：令和7年11月15日（土）10時30分～17時

第2期：令和7年12月20日（土）10時30分～17時

第3期：令和8年 3月14日（土）10時30分～17時

8 開催方式

Zoomによるオンライン形式

※Zoomの入室アカウント等は、申込書に記入いただいたアドレスに各開催日の2～3日前を目途に送信いたします。

9 受講料 * 令和7年度 全3期分(3日分)の受講料となります

北海道老人福祉施設協議会

会 員 1人 15,000円

非会員 1人 30,000円

【受講料のお支払いについて】

受講決定通知発出時、振込先指定口座等のご案内をいたしますので、指定期日までに
お振込ください。欠席時の返金はいたしませんのでご留意願います。

10 申込方法

所属する事業所等の代表者を通じて、申し込み期間内に受講申込書を北海道老人福祉施設協議会事務局へメールでご提出ください。申込書受理後、受講決定通知を送信します。

受講申込書は当初メールに添付、

または北海道老施協ホームページにアップしているデータをご利用ください

あて先メールアドレス： roushikyo@dosyakyo.or.jp

11 申込締切

令和7年10月31日（金）必着

* 会員を優先します。非会員の中では先着順とします。あらかじめご了承ください。

12 注意事項

- ◆ 決定した受講者の変更・辞退はご遠慮ください。
- ◆ 今回の申し込みは3か年全9回のうち、3年目の3回分(7～9回目)の申し込みです。
過年度お申込みであっても再度申し込みが必要です。

13 問合せ先

北海道老人福祉施設協議会事務局

北海道社会福祉協議会 法人・施設支援部 施設福祉課内（担当：宮川）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 2階

TEL 011-241-3766 メール： roushikyo@dosyakyo.or.jp

北海道老人福祉施設協議会

令和7年度多職種協働による自立支援と重度化対応・重症化予防研修 ～最新の認知症ケア～

カリキュラム

※ 受講生は事前にカリキュラムを確認してください。

○ 講義・演習：16.5時間（990分）（全3期／3日間）

【第1期】11/15(土)

時間	内容
10:30～10:40	開会 オリエンテーション
10:40～17:00 (12:00～13:00 休憩)	4大認知症の特徴とケア、看護、医療連携(アルツハイマー型、脳血管性、前頭側頭型) ○主な内容 ・4大認知症(アルツハイマー型、脳血管性、前頭側頭型、レビー小体型)とは ・アルツハイマー型認知症の特徴とケア、看護、医療連携 ・脳血管性認知症の特徴とケア、看護、医療連携 ・前頭側頭型認知症の特徴と6大症状(脱抑制、無関心・無気力、共感欠如、固執・常同性、食習慣の変化・口唇傾向、特徴的認知機能障害) ・前頭側頭型認知症のケア、看護、医療連携 ・高齢者介護施設でよく使用される4つの認知症薬(ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチン)の留意点

【第2期】12/20(土)

時間	内容
10:30～10:40	オリエンテーション
10:40～17:00 (12:00～13:00 休憩)	4大認知症の特徴とケア、看護、医療連携(レビー小体型) パーキンソン病、高齢者てんかんのケア ○主な内容 ・レビー小体型認知症の特徴と4大症状(認知機能の日内変動、幻視・幻聴、レム睡眠時行動異常、パーキンソン症状)とその他の症状 ・レビー小体型認知症のケア、看護、医療連携 ・レビー小体型認知症の4大症状以外(低血圧、夜間頻尿等の自律神経障害)のケア、看護、医療連携 ・パーキンソン病の方のケア、看護、医療連携 ・高齢者介護施設で留意したい錐体外路症状(ジストニア、ジスキネジア、アカシジア、仮面様顔貌など) ・パーキンソン症候群の方のケア、看護、医療連携 ・高齢者てんかんの症状とケア、看護、医療連携 ・高齢者介護施設で留意したい抗精神病薬

【第3期】3/14(土)

時間	内容
10:30～10:40	オリエンテーション
10:40～17:00 (12:00～13:00 休憩)	認知症高齢者の食事ケア、排泄ケア(頻尿、便秘、泥状便など)、不眠のケア ○主な内容 ・認知症高齢者の食事ケア 味覚障害を中心に ・味覚障害がある方の食事摂取の状態 ・どんなときに味覚障害を疑うか ・認知症高齢者の味覚障害の要因 ・味覚障害がある方のケア、看護、医療連携 ・認知症高齢者の頻尿のケア、看護、医療連携の基礎知識 ・頻尿の方の観察 ・認知症高齢者の最新の排泄ケアの基礎知識 ・誤嚥性肺炎、尿路感染症、胆道系疾患、蜂窩織炎等のケア、看護、医療連携 ・特別講義 介護施設でも取り組める誤嚥性肺炎を予防するための体位ドレナージ